

令和6年度第2回静岡市食育推進会議

日時：令和7年1月29日（水）15時30分～17時00分

会場：静岡市役所新館9階 特別会議室

次 第

1 開 会

2 報 告

(1) 第4次静岡市食育推進計画における評価方法について

(2) 第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票について

(3) 市食育事業について

3 議 事

(1) 第4次静岡市食育推進計画における中間見直しについて

(2) 静岡市の食の取組について（意見交換）

・貴団体等における食育の現状について

4 閉 会

静岡市食育推進会議委員一覧

任期 R5. 6. 1～R7. 5. 31

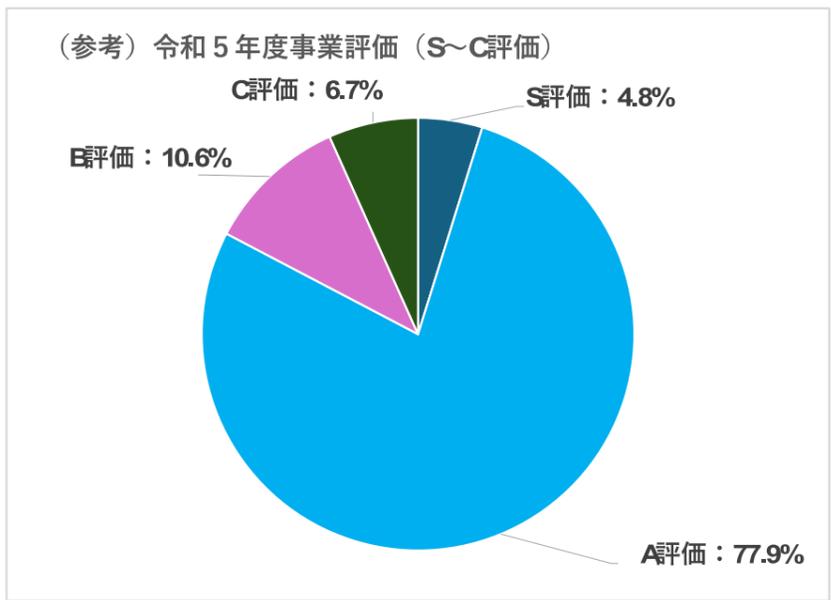
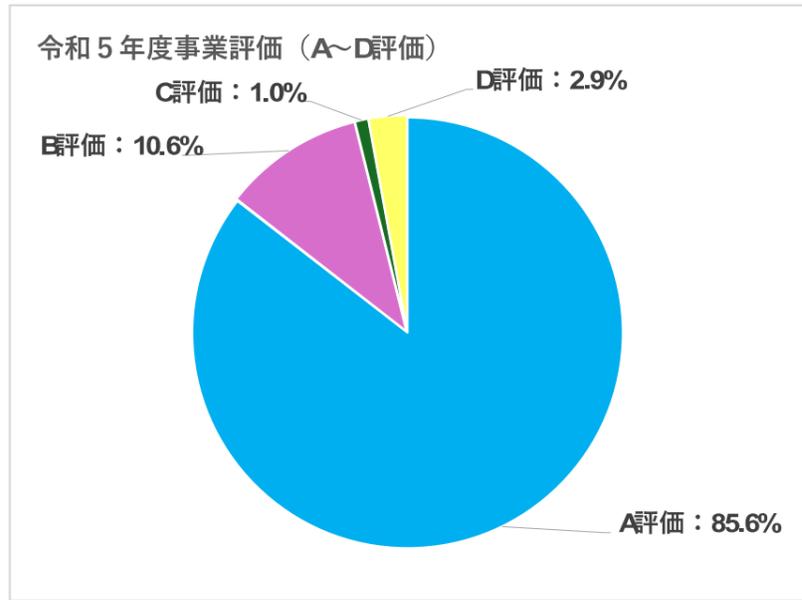
R6. 6月現在

	所属・団体	役職	氏名
1	しずおか市消費者協会	理事	あおき ほんこ 青木 良子
2	市民委員	—	うめき みきこ 梅木 幹子
3	静岡市校長会	賤機北小学校長	おだ やすこ 小田 泰子
4	関東農政局 消費・安全部	消費生活課長	かしわや ひろき 柏谷 広樹
5	一般社団法人 静岡市清水医師会	理事	かどた けいすけ 門田 景介
6	一般社団法人 静岡市静岡歯科医師会	副会長	きのした ひろお 木下 博雄
7	公益社団法人 静岡県栄養士会	副会長	くぼた みほこ 久保田 美保子
8	静岡県立大学 食品栄養科学部	教授	くわの としこ 桑野 稔子
9	市民委員	—	しんや ことみ 新谷 琴美
10	市民委員	—	すぎうら もとあき 杉浦 元昭
11	静岡商工会議所	常務理事	まつうら たかゆき 松浦 高之
12	静岡市公立こども園園長会	中田こども園長	みずたに ともみ 水谷 智美
13	静岡市農業協同組合	代表理事組合長	みつやま きだむ 三津山 定
14	由比港漁業協同組合	代表理事組合長	みやはら じゅんいち 宮原 淳一
15	静岡市食生活改善推進協議会	会長	わたなべ りょうこ 渡邊 良子

(敬称略) 五十音順

基本理念		食を通じて未来を育み、しずおかの「わ」を広げよう ~健康長寿のまちづくりを食から~																
基本方針		若い世代を中心とした食育の推進				健康長寿世界につながる食育の推進				「わ」(和・輪・環)の食育の推進								
目標No.	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	目標11	目標12	目標13	目標14	目標15	目標16	全体	
目標 (評価指標)	食育に関心を持つ若い世代の割合の増加	朝食を欠食する若い世代の割合の低下	情報を得るために行動する若い世代の割合の増加	女性(20歳代)のやせ(低体重)の割合の低下	主食・主菜・副菜を組み合わせ合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合の増加	主食・主菜・副菜を組み合わせ合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合の増加	生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合の増加	食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合の増加	ゆっくり噛んで味わって食べるなど食べ方に関する市民の割合の増加	定期的に歯科健診を受診している市民の割合の増加	毎日1回以上家族や友人等と一緒に食事をしている市民の割合の増加	食品ロス削減のために行動している市民の割合の増加	地元(静岡市)で生産された物を日頃から購入している市民の割合の増加	農林漁業体験をしたことがある市民の割合の増加	地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合の増加	茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合の増加	全体	
令和5年度対象事業数	7	2	12	2 (再掲2)	7 (再掲1)	4	10	10 (再掲1)	2 (再掲1)	9	3	2	10	12	8 (再掲1)	4	104	
令和5年度事業評価(A~D)	A評価	7	2	11	2	7	2	7	10	2	9	2	1	9	12	4	2	89
	B評価	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	2	2	11
	C評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	D評価	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
(参考)第4次計画からの評価方法(S~C)	S評価	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
	A評価	7	2	9	2	6	1	6	9	2	8	2	0	9	12	4	2	81
	B評価	0	0	3	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	11
	C評価	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3	1	7

令和5年度事業評価 結果比較



食育推進計画の事業評価については、第4次計画から評価方法を変更するため、第3次計画の評価方法との比較を行い、確認した。当該年度の実施計画をきちんと立てることで、課題や改善できる内容が把握しやすくなり、次年度実施計画を立てる時の参考となると考える。

- ★新しい評価方法により、評価が変更となった事業(事務局調べ)
- ・No.15 農水産物の情報発信(農業政策課・水産漁港課)A→B
 - ・No.19 食育の日、食育月間の普及啓発(静岡市食生活改善推進協議会)A→B
 - ・No.25 およこの食育教室(静岡市食生活改善推進協議会)A→S
 - ・No.30 高齢者向け教室(静岡市食生活改善推進協議会)A→S
 - ・No.41 生活習慣病予防教室(静岡市食生活改善推進協議会)A→S
 - ・No.50 地域のお祭り等の「バザー等開催届」提出団体への消毒薬の提供(静岡市食品衛生協会)A→B
 - ・No.60 歯と口の健康(静岡市食生活改善推進協議会)A→S
 - ・No.64 食品ロス削減対策事業(ごみ減量推進課)A→S
 - ・No.68 用宗漁港まつり(清水漁業協同組合・水産漁港課)B→C
 - ・No.93 子育てトーク・おやつ教室(静岡市食生活改善推進協議会)B→C
 - ・No.96 茶育・食茶の推進(静岡市食生活改善推進協議会)B→C

「事業評価」
当該年度実施計画を基準値として、A~Dの4段階で評価
A評価：80%以上達成
B評価：50%以上80%未満達成
C評価：50%未満達成
D評価：実施なし

「事業評価」※第4次食育推進計画からの評価方法
当該年度実施計画を基準値として、S~Cの4段階で評価
S評価：105%以上達成
A評価：90%以上105%未満達成
B評価：70%以上90%未満達成
C評価：70%未満達成

第3次静岡市食育推進計画 各目標別登載事業一覧（評価結果比較）

◎：目標数値を達成する上で最も影響のある事業

目標・目標数値・事業数	重点事業	No.	事業名	担当課・団体	評価結果	
					第3次評価 (A~D)	第4次評価方法 (参考) (S~C)
目標1：食育に関心を持つ若い世代の割合 H28:78.7%⇒R5:85%以上 全7事業		1	0歳児の育児相談、6か月児育児相談における栄養相談	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		2	離乳食の作り方教室	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		3	食育活動	子ども未来課	A	A
		4	あそび、子育ておしゃべりサロン	子ども未来課	A	A
	◎	5	公立こども園における食育推進事業	こども園課	A	A
		6	食育講習会	学校給食課	A	A
		7	しずまえ新聞の発行	水産漁港課	A	A
目標2：朝食を欠食する若い世代の割合 20歳代：H28:43.4%⇒R5:35%以下 30歳代：H28:29.7%⇒R5:25%以下	◎	8	しずおかカラダにeat75	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
	◎	9	食に関する指導	学校給食課	A	A
目標3：情報を得るために行動する若い世代の割合 R5:80%以上 全12事業		10	静岡市版食事バランスガイド	健康づくり推進課	A	A
		11	食育の日、食育月間の普及啓発	健康づくり推進課	A	A
		12	食育ホームページ	健康づくり推進課	A	A
		13	食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」	食品衛生課	B	B
		14	保育フェアでの食育展示	こども園課	A	A
		15	農水産物の情報発信	農業政策課 水産漁港課	A	B
		16	啓発資料の作成	学校給食課	A	A
	◎	17	食に関する情報発信	学校給食課	A	A
		18	食の安全・食育に関する資料の展示	中央図書館	A	A
		19	食育の日、食育月間の普及啓発	静岡市食生活改善推進協議会	A	B
		20	健康まつり	静岡市食生活改善推進協議会	A	A
	21	第4次食育推進基本計画の重点課題の解決と目標達成のための取組	関東農政局	A	A	
目標4：女性(20歳代)のやせ(低体重)の割合 H28:30.4%⇒R5:20%以下 全2事業	◎	(8)再掲	しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課	A	A
	◎	(9)再掲	食に関する指導	学校給食課	A	A
目標5：主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 H28:43.2%⇒R5:55%以上 全7事業		22	フレッシュマタニティ教室	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		23	1歳6か月児健康診査における栄養相談	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		24	3歳児健康診査における栄養相談	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
	(8)再掲		しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課	A	A
		25	おやこの食育教室	静岡市食生活改善推進協議会	A	S
		26	給食参観	静岡市私立幼稚園連合会	A	A
	◎	27	栄養素について学ぶ	静岡市私立幼稚園連合会	A	A
目標6：主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合 H28:57.7%⇒R5:70%以上 全4事業	◎	28	元気で長生き栄養講座	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		29	男性料理教室	静岡市食生活改善推進協議会	D	C
		30	高齢者向け教室	静岡市食生活改善推進協議会	A	S
		31	食育教室（学校・幼稚園等）	静岡市食生活改善推進協議会	B	B

<p>目標7:生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合</p> <p>H28:60.6%⇒R5:65%以上</p> <p>全10事業</p>		32	健康まつりにおける栄養相談	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		33	ヘルスアップ食事相談	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
	◎	34	食生活サポート講座	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		35	健康相談（随時）	葵・駿河・清水区健康支援課	A	A
		36	栄養成分表示促進事業	食品衛生課	A	A
		37	健康教室	児童生徒支援課	B	B
		38	しずおかアクティ部	静岡県給食協会	D	C
		39	栄養士研修会	静岡県給食協会	A	A
		40	調理師資質向上対策事業	静岡県調理師会	B	B
	◎	41	生活習慣病予防教室	静岡市食生活改善推進協議会	A	S
<p>目標8:食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合</p> <p>H28:65.8%⇒R5:70%以上</p> <p>全10事業</p>	◎	42	食の安全教室	食品衛生課	A	A
		43	食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション	食品衛生課	A	A
		44	給食施設研修事業	食品衛生課	A	A
		(39)再掲	栄養士研修会	静岡県給食協会	A	A
		45	衛生講習会	静岡県給食協会	A	A
		46	見学研修会	静岡県給食協会	A	A
		47	グリーンコンシューマー講座 ⇒（仮）エシカル消費と家庭の食卓	しずおか市消費者協会	A	A
		48	「食品衛生月間」街頭広報活動	静岡市食品衛生協会	A	A
		49	「静岡食協ニュース」の編集・発行	静岡市食品衛生協会	A	A
		50	地域のお祭り等の「バザー等開催届」提出団体への消毒薬の提供	静岡市食品衛生協会	A	B
<p>目標9:ゆっくり噛んで味わって食べるなど食べ方に関心のある市民の割合</p> <p>H28:38.6%⇒R5:45%以上</p>		51	歯つらつ健口講座	健康づくり推進課	A	A
	◎	(9)再掲	食に関する指導	学校給食課	A	A
<p>目標10:定期的に歯科健診を受診している市民の割合</p> <p>H28:52.8%⇒R5:60%以上</p> <p>全9事業</p>		52	夏休み親子「歯」の教室～ミュージアム探検隊～	健康づくり推進課	A	A
		53	歯みがき巡回指導	健康づくり推進課	A	A
		54	歯みがきスタート教室	健康づくり推進課	A	A
		55	1歳6か月・3歳児健康診査における歯科相談	健康づくり推進課	A	A
		56	乳幼児むし歯予防事業（委託）	健康づくり推進課	A	A
		57	フッ化物洗口法によるむし歯予防事業	健康づくり推進課	A	A
	◎	58	歯周病検診	健康づくり推進課	A	A
		59	妊婦歯科健診	子ども家庭課	A	A
<p>目標11:毎日1回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合</p> <p>H28:81.0%⇒R5:85%以上</p> <p>全3事業</p>		60	歯と口の健康	静岡市食生活改善推進協議会	A	S
		61	おやこ食育教室	葵・駿河・清水区健康支援課	B	B
		62	サマーキャンプ	子ども会連合会	A	A
<p>目標12:食品ロス削減のために行動している市民の割合</p> <p>H28:50.3%⇒R5:55%以上</p> <p>全2事業</p>	◎	63	楽しく子育て応援教室	静岡市食生活改善推進協議会	A	A
	◎	64	食品ロス削減対策事業	ごみ減量推進課	A	S
		65	スマートクッキング	静岡市食生活改善推進協議会	B	B

目標13:地元(静岡市)で生産された物を日頃から購入するようにしている市民の割合 H28:23.6%⇒R5:30%以上 全10事業	66	静岡市認定農業者協会「春の市・秋の市・冬の市」	静岡市認定農業者協会 農業政策課	A	A
	67	産業フェアしずおか	農業政策課 水産漁港課	A	A
	68	用宗漁港まつり	清水漁業協同組合 水産漁港課	B	C
	◎	69 地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食課	A	A
	70	地産地消活動（商店街・店頭販売）	静岡市農業協同組合	A	A
	71	しずおか畜産まつり	静岡市農業協同組合	A	A
	72	地元の海産物	清水漁業協同組合	A	A
	◎	73 しらすを食べる会	清水漁業協同組合	A	A
	◎	74 地産地消活動（商店街・店頭販売）	清水農業協同組合	A	A
	75	アグリフェスタしみず	清水農業協同組合	A	A
目標14:農林漁業体験をしたことがある市民の割合 H28:34.3%⇒R5:40%以上 全12事業	76	清水港マグロまつり	海洋文化都市政策課	A	A
	77	アグリチャレンジパーク蒲原活用事業	農業政策課	A	A
	78	しずまえ漁業見学ツアー	水産漁港課	A	A
	79	親子しいたけ種駒打ち教室	中山間地振興課	A	A
	80	親子食農体験「ソレイユくらぶ」	静岡市農業協同組合	A	A
	81	出張加工品づくり教室	静岡市農業協同組合	A	A
	82	農業体験教育事業	静岡市農業協同組合	A	A
	◎	83 生消菜言倶楽部	静岡市農業協同組合	A	A
	84	体験学習	私立幼稚園連合会	A	A
	85	タタミ干し作り体験と体験乗船	清水漁業協同組合	A	A
86	出前講座	清水農業協同組合	A	A	
87	農業体験教育事業	清水農業協同組合	A	A	
目標15:地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 H28:28.4%⇒R5:35%以上 全8事業	88	ライフステージに応じた各種食育推進講座	生涯学習推進課	A	A
	◎	89 食育応援団	健康づくり推進課	A	A
	90	都市山村交流センターの活用	中山間地振興課	C	C
	◎	(69)再掲 地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食課	A	A
	91	調理技術研修会	静岡県給食協会	D	C
	92	食文化・食育普及啓発	静岡県調理師協会	B	B
	93	子育てトーク・おやつ教室	静岡市食生活改善推進協議会	B	C
94	じまんの「しよく」フェスタ	静岡市農業協同組合	A	A	
目標16:茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合 H28:53.3%⇒R5:60%以上 全4事業	◎	95 お茶の美味しい入れ方教室	農業政策課	B	B
	96	茶育・食茶の推進	静岡市食生活改善推進協議会	B	C
	97	お茶育	静岡市農業協同組合	A	A
	98	緑茶を飲もう	静岡市私立幼稚園連合会	A	A

第4次静岡市食育推進計画における 重点事業実施計画個票

目次

重点事業一覧	1
記入例	2
元気で長生き栄養講座（葵・駿河・清水区役所健康支援課）	3
食生活サポート講座（葵・駿河・清水区役所健康支援課）	4
生活習慣病予防教室（静岡市食生活改善推進協議会）	5
食の安全教室（食品衛生課）	6
歯周病検診（健康づくり推進課）	7
楽しく子育て応援教室（静岡市食生活改善推進協議会）	8
公立こども園における食育推進事業（こども園課）	9
食に関する情報発信（学校給食課）	10
食に関する指導（学校給食課）	11
しずおかカラダにeat75（健康づくり推進課）	12
栄養素について学ぶ（静岡市私立幼稚園連合会）	13
食品ロス削減対策事業（ごみ減量推進課）	14
地場産物を取り入れた献立の提供（学校給食課）	15
地産地消活動（商店街・店頭販売）（清水農業協同組合）	16
しらすを食べる会（清水漁業協同組合）	17
生野菜言倶楽部（静岡市農業協同組合）	18
食育応援団（健康づくり推進課）	19
お茶の美味しい入れ方教室（農業政策課）	20

第4次静岡市食育推進計画における重点事業一覧

◎重点事業・・・計画の目標数値を達成する上で最も影響のある事業

基本方針	基本施策	No.	事業名	担当課・団体
心豊誰かもが食生活健康の実現	(1) 栄養バランスに配慮した食生活の実践	1	元気で長生き栄養講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
	(2) 適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践	2	食生活サポート講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		3	生活習慣病予防教室	静岡市食生活改善推進協議会
	(3) 食品の安全・安心に関する知識の習得	4	食の安全教室	食品衛生課
	(4) よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進	5	歯周病検診	健康づくり推進課
		6	楽しく子育て応援教室	静岡市食生活改善推進協議会
若い世代が食を楽しくする食育の推進	(5) 食育の普及啓発・情報発信	7	公立こども園における食育推進事業	こども園課
		8	食に関する情報発信	学校給食課
	(6) 規則正しい食習慣の実践	9	食に関する指導	学校給食課
		10	しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課
		11	栄養素について学ぶ	静岡市私立幼稚園連合会
持続可能な食を支える環境の醸成	(7) 環境に配慮した食生活の実践	12	食品ロス削減対策事業	ごみ減量推進課
	(8) 地産地消の推進	13	地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食課
		14	地産地消活動（商店街・店頭販売）	清水農業協同組合
		15	しらすを食べる会	清水漁業協同組合
	(9) 農林漁業生産者と消費者との交流	16	生消費言倶楽部	静岡市農業協同組合
	(10) 食文化の継承	17	食育応援団	健康づくり推進課
		18	お茶の美味しい入れ方教室	農業政策課

【記入例】第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	10 しずおかカラダにeat75	基本方針・主な基本施策・主な数値目標については第4次計画より記載。
担当課・団体	健康づくり推進課	
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進	
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践	
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上	
取組内容	民間事業者・高校・大学等と連携し、食育教室やイベントを開催。若い世代の「食」を通じた健康づくり事業を実施	
現状・課題	(現状) 若い世代の食に関する課題が他年代と比べて、多い傾向にある (課題) 若い世代が健全な食生活を次世代へつなげていくことができる食育の推進	
令和12年度末目標値	食育教室やイベント等を通じ、若い世代の食に関する野菜不足等の課題改善	

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
・大学等と連携し、学生を対象とした野菜摂取量の測定や食育SATシステムの体験会を実施 ・野菜のおかず (70g) の試食			
総合的評価	取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)	A	事業は適切に行うことができた
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 若い世代の野菜摂取量の増加	A	アンケートの学生の感想より「野菜摂取量を増やしたい」という声が多かった
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 野菜が不足していると認識している学生が「今後、意識して野菜料理を食べる」と回答した割合 80%以上	S	アンケートにより、不足している学生が「今後、頑張って食べるようにしたい」と87%が回答した
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 大学、学食、市と連携することで、若い世代の野菜不足等への課題等を共有する	A	次年度に向けて、継続的に開催ができるように計画をしている
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 野菜に関する啓発資料の配布や、野菜のおかず(70g)を試食することで、1日の目標野菜摂取量(350g)を認識する	A	実際に試食することで1皿70gの野菜量について知ることができた

令和7年度事業計画

取組方針	取組方針	【評価について】 各目標に対して、 105%以上達成・・・S評価 90%以上105%未満達成・・・A評価 70%以上90%未満達成・・・B評価 70%未満達成・・・C評価
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標	
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標	
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標	
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標	

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 食育教室・イベント等の開催	1回						
②							
③							

実績を入力(〇回、実施・・・など)
評価指標を追加・変更等を行ったら追加して入力

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	1 元気で長生き栄養講座
担当課・団体	葵・駿河・清水区役所健康支援課
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現
主な基本施策	(1) 栄養バランスに配慮した食生活の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合 60%以上
取組内容	低栄養予防についての講話、簡単な調理実習・試食を行い、高齢期の食生活について学ぶ
現状・課題	(現状) 参加者の理解度・満足度も高く、低栄養予防に関する知識の普及や共食の場となっている (課題) 参加者の確保
令和12年度末目標値	教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> 調理実習、試食の実施により実践につなげ、共食の推進を図る 参加者数を増やすため、生涯学習施設との共催やPR活動等を行う 		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 教室アンケートより、「今後の生活にバランスのとれた食事を毎食食べることを取り入れたい」と回答する参加者の割合 75%以上		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理実習・試食等を行う		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 教室アンケートより、「バランスのとれた食事について理解できた」と回答する参加者の割合 80%以上		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 講座の開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	2 食生活サポート講座
担当課・団体	葵・駿河・清水区役所健康支援課
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現
主な基本施策	(2) 適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合 75%以上
取組内容	講話や調理体験を通して適切な食事を学び、生活習慣病の予防改善を行う
現状・課題	(現状) 参加者の理解度・満足度も高く、適切な食事についての知識の普及ができています (課題) 参加者の確保
令和12年度末目標値	教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針		評価 (S~C)	評価の理由
取組方針	・年14回実施 ・食量や食事バランスについての知識普及		
総合的評価	取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上		
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 教室アンケートより、「今後の食生活の中で適切な食事を摂取していく」と回答する参加者の割合 60%以上		
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのように作るか示した目標 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理体験・試食等を行う		
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 教室アンケートより、「自分にあった食事の量が理解できた」と回答する参加者の割合 60%以上		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのように作るか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 講座の開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	3 生活習慣病予防教室
担当課・団体	静岡市食生活改善推進協議会
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現
主な基本施策	(2) 適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合 75%以上
取組内容	減塩料理を家庭でも実践できるよう、講話や調理実習を通して、生活習慣病予防のための知識を身につける
現状・課題	(現状) 参加者の理解度・満足度も高く、適切な食事についての知識の普及ができています (課題) 参加者の確保、広報の工夫
令和12年度末目標値	各地区で年2回以上開催し、減塩等の知識について啓発する

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
・年18回実施 ・減塩等の知識について啓発し、家庭での実践につなげる		
取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 市食推協の全9地区において、年2回以上開催 市民が継続的に受講し、減塩等についての知識を学ぶ		
結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 自身の食生活において減塩の必要性などについて気づくことで、継続的に実践する参加者の増加		
行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加		
行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 減塩がなぜ必要なのか、減塩の工夫について知る参加者の増加		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 教室の開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	4 食の安全教室
担当課・団体	食品衛生課
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現
主な基本施策	(3) 食品の安全・安心に関する知識の習得
主な第4次食育推進計画数値目標	・食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合 70%以上
取組内容	小学生等を対象に、食の安全に関する知識の向上が図られるよう、食中毒や添加物等の講話を行う
現状・課題	(現状) 毎年一定数の教室の応募があり、概ね高い満足度を得ている (課題) 応募数によっては担当課の負担増となる場合もあるため調整が必要
令和12年度末目標値	年9回の教室を開催し、食中毒・添加物等の知識について啓発する

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
・小学校等で食中毒・添加物等についての講話を年12回実施		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 受講後アンケートにて「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」と回答した参加者 50%以上		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 受講後アンケートにて「家族に話してみたい」と回答した参加者 55%以上		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 食の安全教室をやむを得ない場合を除いて、100%依頼に応じる		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 受講後アンケートにて「よくわかった・わかった」と回答した参加者 85%以上		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標	
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標	
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標	
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標	

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 安全教室の開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	5 歯周病検診
担当課・団体	健康づくり推進課
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現
主な基本施策	(4) よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進
主な第4次食育推進計画数値目標	・定期的に歯科健診を受診している市民の割合 85%以上
取組内容	満40歳になる市民を対象に「無料の歯周病検診」を実施
現状・課題	(現状) 成人健診まるわかりガイドの配布を通じ、検診制度が市民へ周知されつつある (課題) 受診者数増加のために、幅広い周知活動が必要
令和12年度末目標値	成人健診まるわかりガイドの配布を通じ、検診制度を市民へ周知し、受診行動につながっている状態

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
・検診の委託実施 検診制度の周知に加え、歯周病の恐ろしさに関する周知啓発		
取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 歯周病検診を通じて、定期的な歯科健診の受診を促す		
結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 歯周病検診の受診者数の増加		
行動目標を達成するために、どんな環境をどのように作るか示した目標 「成人健診まるわかりガイド」を市民全世帯に配布 歯ピカ検診無料受診券の他に、トリプル健診無料受診券の送付		
行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 歯周病検診を受診することで、自身の口腔内状況を把握する		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのように作るか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 受診者数							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	6 楽しく子育て応援教室
担当課・団体	静岡市食生活改善推進協議会
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現
主な基本施策	(4) よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進
主な第4次食育推進計画数値目標	・毎日1回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合 85%以上
取組内容	食育5つの力として、1 食べ物の味がわかる力 2 食べ物の命を感じる力 3 食べ物をえらぶ力 4 料理ができる力 5 元気なからだができる力を学び、おやつづくりなど料理をして子どもとその保護者が食を楽しむ場を提供
現状・課題	(現状) 子どもの頃から望ましい食生活を実践できるような知識の普及に取り組んでいる (課題) 食に関心のない保護者にも参加をしてもらうための周知方法
令和12年度末目標値	各地区で年1回以上開催し、共食の重要性等についても啓発する

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
・年15回実施 (ふじのくに食育教室も含む)		
総合的評価		
結果目標 (アウトカム)		
行動目標		
環境目標		
学習目標		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 教室の開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	7 公立こども園における食育推進事業
担当課・団体	こども園課
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(5) 食育の普及啓発・情報発信
主な第4次食育推進計画数値目標	・食育に関心を持つ若い世代の割合 85%以上 ・食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合 80%以上
取組内容	体験や給食を通し、食習慣の取得の啓発を実施。食育日よりやしシビを配布し、保護者への情報提供を行う
現状・課題	(現状)「かむ力」についての食育活動が実施できている (課題)子どもの咀嚼力が弱く、継続的な支援が必要
令和12年度末目標値	各こども園での食育活動の継続 子どもの食に関する課題を把握し、効果的に食育を実施

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> 「かむ力」の課題に対する食育を継続実施 各こども園の食育担当者等に対して食育活動の支援を行う 		
総合的評価		
結果目標 (アウトカム)		
行動目標		
環境目標		
学習目標		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 毎月、かみかみメニューの提供							
② よく噛むことの食育活動の実施							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	8 食に関する情報発信
担当課・団体	学校給食課
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(5) 食育の普及啓発・情報発信
主な第4次食育推進計画数値目標	・食育に関心を持つ若い世代の割合 85%以上 ・食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合 80%以上
取組内容	学校給食ウェブサイト等を活用して、食育に関わる情報全般を発信
現状・課題	(現状) R5に各学年1回以上実施した割合89.6% (126校中112校で実施) R5の小中学校別実施率 小学校92.7% 中学校83.6% (課題) 目標値の達成
令和12年度末目標値	各学年1回以上実施した食に関する指導の割合95% (小学校94%、中学校85%)

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	各学年1回以上の「食に関する授業」を実施 各学校の状況に合わせて柔軟に対応する	評価 (S~C)	評価の理由
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 「好き嫌いなく食べようとしている」児童生徒の割合 60%以上		
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 栄養教諭・栄養士を活用した食に関する指導を各学年1回以上実施		
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合 100%		
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 食に関する指導の全体計画作成において、各種調査結果(既存の調査、前年度評価指標とした項目を含む)、観察等に基づき、自校の児童生徒の実態を表す具体的数値を記述している学校の割合 100%		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 栄養教諭・栄養士によるTT授業							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	9 食に関する指導
担当課・団体	学校給食課
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・栄養バランスに関わる食育を、栄養教諭・栄養士を活用して実施した学校の割合 100% ・学童期や思春期に関わる食育を実施した学校の割合 80%以上
取組内容	栄養教諭・栄養士が児童生徒へ食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう支援
現状・課題	(現状) R5に各学年1回以上実施した割合89.6% (126校中112校で実施) R5の小中学校別実施率 小学校92.7% 中学校83.6% (課題) 目標値の達成
令和12年度末目標値	各学年1回以上実施した食に関する指導の割合95% (小学校94%、中学校85%)

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 「好き嫌いなく食べようとしている」児童生徒の割合 60%以上		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 栄養教諭・栄養士を活用した食に関する指導を各学年1回以上実施		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合 100%		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 食に関する指導の全体計画作成において、各種調査結果(既存の調査、前年度評価指標とした項目を含む)、観察等に基づき、自校の児童生徒の実態を表す具体的数値を記述している学校の割合 100%		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標	
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標	
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標	
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標	

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 栄養教諭・栄養士によるTT授業							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	10 しずおかカラダにeat75
担当課・団体	健康づくり推進課
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上
取組内容	民間事業者・高校・大学等と連携し、食育教室やイベントを開催。若い世代の「食」を通じた健康づくり事業を実施
現状・課題	(現状) 若い世代の食に関する課題が他年代と比べて、多い傾向にある (課題) 若い世代が健全な食生活を次世代へつなげていくことができる食育の推進
令和12年度末目標値	食育教室やイベント等を通じ、若い世代の食に関する野菜不足等の課題改善

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・大学等と連携し、学生を対象とした野菜摂取量の測定や食育SATシステムの体験会を実施 ・野菜のおかず (70g) の試食 		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 若い世代の野菜摂取量の増加		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 野菜が不足していると認識している学生が「今後、意識して野菜料理を食べる」と回答した割合 80%以上		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 大学、学食、市と連携することで、若い世代の野菜不足等への課題等を共有する		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 野菜に関する啓発資料の配布や、野菜のおかず(70g)を試食することで、1日の目標野菜摂取量(350g)を認識する		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 食育教室・イベント等の開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	11 栄養素について学ぶ
担当課・団体	静岡市私立幼稚園連合会
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上
取組内容	乳幼児とその保護者に対し、3種類の栄養素について、身近な食材を用いて食育講話を行う
現状・課題	(現状) 子どもに分かりやすく工夫して、伝えている (課題) 幼児のため理論的な理解は難しいため、興味を持てるような媒体等の検討
令和12年度末目標値	各幼稚園で食育活動を実施

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
・食育に関して興味を持てるような教材を利用し、栄養素などを伝えていく		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 食べることに興味を持ち、栄養素について子どもなりに理解する		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 給食だよりの3色に色分けされた使用材料の部分の説明を聞きながら、色を塗って確認する		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 給食だよりを子どもでも読めるように、ひらがなで記載し、理解できるように作成する		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 3つの食品群が持つ体への働きと、食べることに興味を持ち、食べることが自身の体づくりの土台となっていることを理解する		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標	
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標	
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標	
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標	

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 給食だよりの赤・緑・黄色の色塗り							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	12 食品ロス削減対策事業
担当課・団体	ごみ減量推進課
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(7) 環境に配慮した食生活の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・食品ロス削減のために行動をしている市民の割合 75%以上
取組内容	ごみ削減講座の開催、30・10運動の推進等を通じて、食品ロス削減に対する意識向上を図り、ごみ減量を推進。
現状・課題	(現状) 市民の食品ロス削減に対する意識向上を図っている。 (課題) 食べ物を残すことが「もったいない」という意識が薄れているため、意識を変革させる取組が必要。
令和12年度末目標値	・食品ロス啓発機会の確保 年50回以上 ・市内事業者や団体との連携による幅広い啓発活動の実施

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ啓発キャンペーン 年2回実施 ・出前講座 年40回実施 ・インスタグラムでの食品ロス削減啓発に関連する投稿 年10回実施 		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 事業アンケート等により「食品ロス削減の取組を意識的に行っている」の回答率 80%以上		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 スーパー等における「手前どり」の推奨や、「フードドライブ」への参加等について、イベントやキャンペーンで働きかける		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 家庭で発生している食品ロスの量を把握し、減量をしていけるように「食品ロス日記」を実施		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 食品ロス削減に向けた意識の醸成を図るために、小・中・高校において出前授業を実施		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 食品ロス啓発機会の確保							
② 他団体との連携による啓発活動							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	13 地場産物を取り入れた献立の提供
担当課・団体	学校給食課
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(8) 地産地消の推進
主な第4次食育推進計画数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上 ・地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 35%以上 ・郷土食・伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 30%以上
取組内容	県内産食材や地域の食文化を生かした献立を提供する
現状・課題	<p>(現状) 学校給食における地産地消率 41.3% (6、11月のふるさと給食週間に調査)</p> <p>(課題) 地産地消率を伸ばすことは条件的に困難であり、維持を目指している</p>
令和12年度末目標値	静岡市の学校給食における地産地消率40%台を維持

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<p>取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市の学校給食における地産地消率40%以上（経年評価） 		
<p>総合的評価</p> <p>取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)</p>		
<p>結果目標 (アウトカム)</p> <p>健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 学校給食で使われている地場産物や郷土食について知っている児童生徒の割合 45%</p>		
<p>行動目標</p> <p>結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 地域の地場産物や食文化について話題にしている学校の割合 43%</p>		
<p>環境目標</p> <p>行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 ふるさと給食週間における地産地消40%以上</p>		
<p>学習目標</p> <p>行動目標を達成するための知識、態度（意識）、技術（能力）に関わる目標 静岡の食べ物を知っている児童生徒の割合 72%</p>		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度（意識）、技術（能力）に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期 (中間見直し)	後期	後期	後期 (アンケート調査)	後期 (最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① ふるさと給食週間の実施							
② ふるさと給食の日の実施							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	14 地産地消活動（商店街・店頭販売）
担当課・団体	清水農業協同組合
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	（8）地産地消の推進
主な第4次食育推進計画数値目標	・地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上
取組内容	地場産品の販売
現状・課題	（現状）各地域女性組織を中心に活動 （課題）継続実施
令和12年度末目標値	・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する 		
総合的評価 取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 （PDCAサイクルに基づき、行われていたか）		
結果目標 (アウトカム) 健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 継続して今後も13組織で販売する		
行動目標 結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 研修会等への参加		
環境目標 行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 地域の消費者へ食料の安定供給と地産地消の増進を図る		
学習目標 行動目標を達成するための知識、態度（意識）、技術（能力）に関わる目標 組織ごと来店客との交流を通じて、地域の消費者が求める農産物が何かを知り、組織で共有する		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度（意識）、技術（能力）に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 地場産品の販売							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	15 しらすを食べる会
担当課・団体	清水漁業協同組合
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(8) 地産地消の推進
主な第4次食育推進計画数値目標	・地元(静岡市)で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上
取組内容	より多くの方に、しらすなどの静岡市水産物の良さを知ってもらい、消費者と生産者を結び付け、地元の水産物に触れる機会を提供
現状・課題	(現状) 近年、しらす漁不漁が続き魚価高騰のため、原魚確保が困難 (課題) しらすの好不漁があり、生しらすの提供ができるか不明
令和12年度末目標値	・地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価(S~C)	評価の理由
・地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続		
総合的評価		取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)
結果目標(アウトカム)		健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 地元ブランド(しらす)の普及啓発
行動目標		結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 イベントを計画通りに実施する
環境目標		行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 イベント主催者と協議しながら、PR活動を実施
学習目標		行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 イベントで試食や体験等を通して、地元の水産物について知ってもらう

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標(アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6~令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① イベントの開催							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	16 生消費言倶楽部（せいしょうなごんくらぶ）
担当課・団体	静岡市農業協同組合
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	（9）農林漁業生産者と消費者との交流
主な第4次食育推進計画数値目標	・農林漁業体験をしたことがある市民の割合 40%以上
取組内容	生産者と消費者による農作業や加工品作りの実施や意見交換を行う
現状・課題	（現状）大豆やサツマイモのつるさしから収穫まで、一連の農作業を行っている （課題）女性部の高齢化に伴い、実施方法等を検討する必要がある
令和12年度末目標値	年間7回開催、参加者200人目標

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
取組方針	農産物の栽培から収穫を通して、生産者と消費者が意見交換し、農業への理解を深め、地産地消を推進する		
総合的評価	取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 年間コースの参加 80%以上		
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 参加者が地元の農産物を前年度より多く購入する		
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 参加者が市産農産物を理解する場所を提供する		
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度（意識）、技術（能力）に関わる目標 参加者が農業に対して理解度を深める 80%		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度（意識）、技術（能力）に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 農作業体験							
② 料理教室							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	17 食育応援団
担当課・団体	健康づくり推進課
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(10) 食文化の継承
主な第4次食育推進計画数値目標	・食育の推進に関わるボランティア団体等において活動する市民の数 1,500人以上 ・地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 35%以上
取組内容	食育に取り組む市民からの依頼によりその内容にあった応援団を紹介する
現状・課題	(現状) 応援団講師の数が年々減少傾向にあり、一部の講師に負担がかかる場合がある (課題) 応援団講師を増やしていくことが課題
令和12年度末目標値	食育応援団パンフレットの作成及び配布、応援団派遣件数50件、応援団講師の新規登録

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
<ul style="list-style-type: none"> 食育応援団活動のPRやパンフレットの作成及び配布 応援団派遣件数 50件 		
総合的評価		
結果目標 (アウトカム)		
行動目標		
環境目標		
学習目標		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関する目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 応援団派遣件数							
②							
③							

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	18 お茶の美味しい入れ方教室
担当課・団体	農業政策課
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(10) 食文化の継承
主な第4次食育推進計画数値目標	・茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合 60%以上
取組内容	小学生が一人ひとり茶器に触れ、茶葉でお茶を入れる体験を実施し、お茶の飲み比べや味の違いを体験する
現状・課題	(現状) 毎年多くの学校が希望し、実施後の満足度が高い (課題) 事業実施スケジュールとカリキュラムの関係で未実施になってしまう学校がある
令和12年度末目標値	お茶の美味しい入れ方教室を希望する全ての市内小学校で実施

令和6年度事業計画

令和6年度事業評価

取組方針	評価 (S~C)	評価の理由
希望する小学校に日本茶インストラクターを講師として派遣し、お茶の美味しい入れ方教室を実施する		
取組方針に基づき、事業計画が適切に実施されていたか。 (PDCAサイクルに基づき、行われていたか)		
健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標 家計調査において、二人以上の世帯における茶葉購入量が2,400gになる		
結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標 授業を受けた児童が、お茶に関心を持つことで、家庭でお茶を飲む機会の増加		
行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標 授業を受けた児童と保護者にとって、お茶が親しいものになる		
環境目標 行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標 授業を受けた児童及び保護者がお茶の美味しい入れ方と静岡市の歴史や文化を理解する		
学習目標		

令和7年度事業計画

取組方針	
結果目標 (アウトカム)	健康状態や生活の質(QOL)をいつまでに、どこまで改善・向上させるかを設定した目標
行動目標	結果目標を達成させるために求められる生活習慣などに関する目標
環境目標	行動目標を達成するために、どんな環境をどのようにつくるか示した目標
学習目標	行動目標を達成するための知識、態度(意識)、技術(能力)に関わる目標

令和6～令和12年度の取組について

計画予定	前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標/年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
① 教室の実施							
②							
③							